

経済諸会議の動向（４）

田中 修

はじめに

1月8-9日、人民工作会議が開催され、周小川人民銀行行長が報告を行った。本稿では、会議で議論された2015年の金融政策の概要と、12月31日に公表された人民銀行貨幣政策委員会の概要を紹介する。

1. 人民銀行工作会議（1月8-9日）

中央経済工作会議は、現在及び今後一時期の内外経済情勢を深刻に分析し、2015年の経済政策の総体要求、マクロ政策の方向と重要任務を明確にした。新常态を認識し、新常态に適応し、新常态を引率することは、マクロ・コントロールと金融の改革・発展・安定政策を更にしっかり行うための出発点・立脚点である¹。経済発展の新常态に対して、深刻に理解し、認識を高め、思想・行動を中央の認識・判断に統一させ、積極的に成果を上げ、自己の「課業」を着実にしっかり行い、時と共に進んでマクロ・コントロールと金融の改革・発展・安定政策にしっかり取り組まなければならない。

2015年、人民銀行系統組織は18回党大会、18期3中全会・4中全会及び中央経済工作会議精神を全面的に貫徹し、鄧小平理論・「3つの代表」重要思想・科学的発展観を導きとしなければならない。安定の中で前進を求めるという政策の総基調を堅持し、経済発展の新常态に積極的に適応し、発展方式の転換と構造調整を更に重要と位置づけ、法に基づく行政を深く推進しなければならない。穏健な金融政策を引き続き実施し、緩和・引締め適切な度合を更に重視し²、適時適度に事前調整・微調整を行い、金融の改革開放を大いに推進し、各種金融リスクを確実に防止・解消し、金融のサービス・管理水準を引き上げ、経済社会の持続的で健全な発展を促進しなければならない。

2015年の政策の主要任務を次のように提起する。

（1）党18期4中全会精神を深く貫徹実施し、金融法治体系の建設を全面的に強化する法に基づく行政と行政の簡素化・権限の開放を引き続き深く推進する。

（2）穏健な金融政策を引き続き実施する

マクロブルーデンス管理を強化・改善し、各種手段の組合せを柔軟に運用し、銀行システムの流動性の合理的な充足を維持し、マネー・貸出と社会資金調達規模の平穏で適度な伸びを誘導する。

¹ ゴチックは筆者。

² この表現は中央経済工作会議で新たに加えられたものである。

方向を定めたコントロール³を引き続き実施し、金融機関がストックを活性化しフローをうまく用いるよう誘導し、カギとなる分野・脆弱部分に対する貸出支援を増やす。

(3) 実体経済に対する金融支援を増やし、資金調達コストを更に引き下げる

(4) 金融の改革開放を早急に推進する

金利の市場化改革を加速する。人民元レートの形成メカニズムを引き続き改善する。人民元の資本項目の兌換化を着実に推進する。預金保険制度を確立する。金融機関の改革を深化させる。外貨管理体制改革を推進する。地域の開放と協調的発展を促進する。インターネット金融の刷新と規範的発展を促進する。

(5) 人民元のクロスボーダー使用を拡大する

(6) 金融市場の協調発展を促進する

(7) 総合的な措置を採用して地域的・システミックな金融リスクが発生しないことを確保する

(8) 国際的な経済・金融政策協調と規則の制定に深く参加する

(9) 金融のサービス・管理の現代化を着実に推進する

(10) 人民銀行系統組織における党建設を着実に推進する

(11) 政策の実施と内部管理にしっかり取り組む

2. 人民銀行貨幣政策委員会第4四半期例会（12月31日公表）

現在、わが国の経済運営はなお合理的区間にあり、金融の運営は総体として平穏であり、経済構造調整には積極的変化が出現しているが、情勢の錯綜・複雑さは低評価できない。世界経済はなお国際金融危機後の深い調整期にあり、米国には積極的な兆しがかなり多いものの、ユーロ圏はデフレリスクに直面⁴しており、一部新興国の実体経済はかなり多くの困難に直面している。国際大口取引商品価格の変動等の要因がグローバル経済と国際金融市場に与える影響が増大している。

18回党大会、18期3中全会と中央経済工作会議精神を真剣に貫徹実施しなければならない。内外経済・金融の最新動向と国際資本流動の変化に密接に注意を払い、安定の中で前進を求め、改革・イノベーションを行うことを堅持する。穏健な金融政策を引き続き実施し、緩和・引締め³の適切な度合を更に重視し、多様な金融政策手段を柔軟に運用し、適度な流動性を維持し、マネー・貸出と社会資金調達規模の合理的な伸びを実現する。資金調達構造・貸出構造を改善・最適化する。金融体制改革を引き続き深化させ、金融の運営効率と実体経済へのサービス能力を増強する。金利市場化と人民元レートの形成メカニズムの改革を更に推進し、合理的均衡水準における人民元レートの基本的安定を維持する。

（1月13日記）

³ 2014年は、「三農」と小型・零細企業に的を絞った預金準備率引下げが実施された。

⁴ ゴチック部分は、第3四半期例会から表現が変更・追加された部分である。